



2024年3月期 決算説明

伯東株式会社

2024年5月

- Section 1 - 2024年3月期 決算概要
- Section 2 - 2025年3月期 通期業績予想・配当予想
- Section 3 - 中期経営計画 Change & Co-Crete 2024

Section 1 - 2024年3月期 決算概要

Section 2 - 2025年3月期 通期業績予想・配当予想

Section 3 - 中期経営計画 Change & Co-Crete 2024

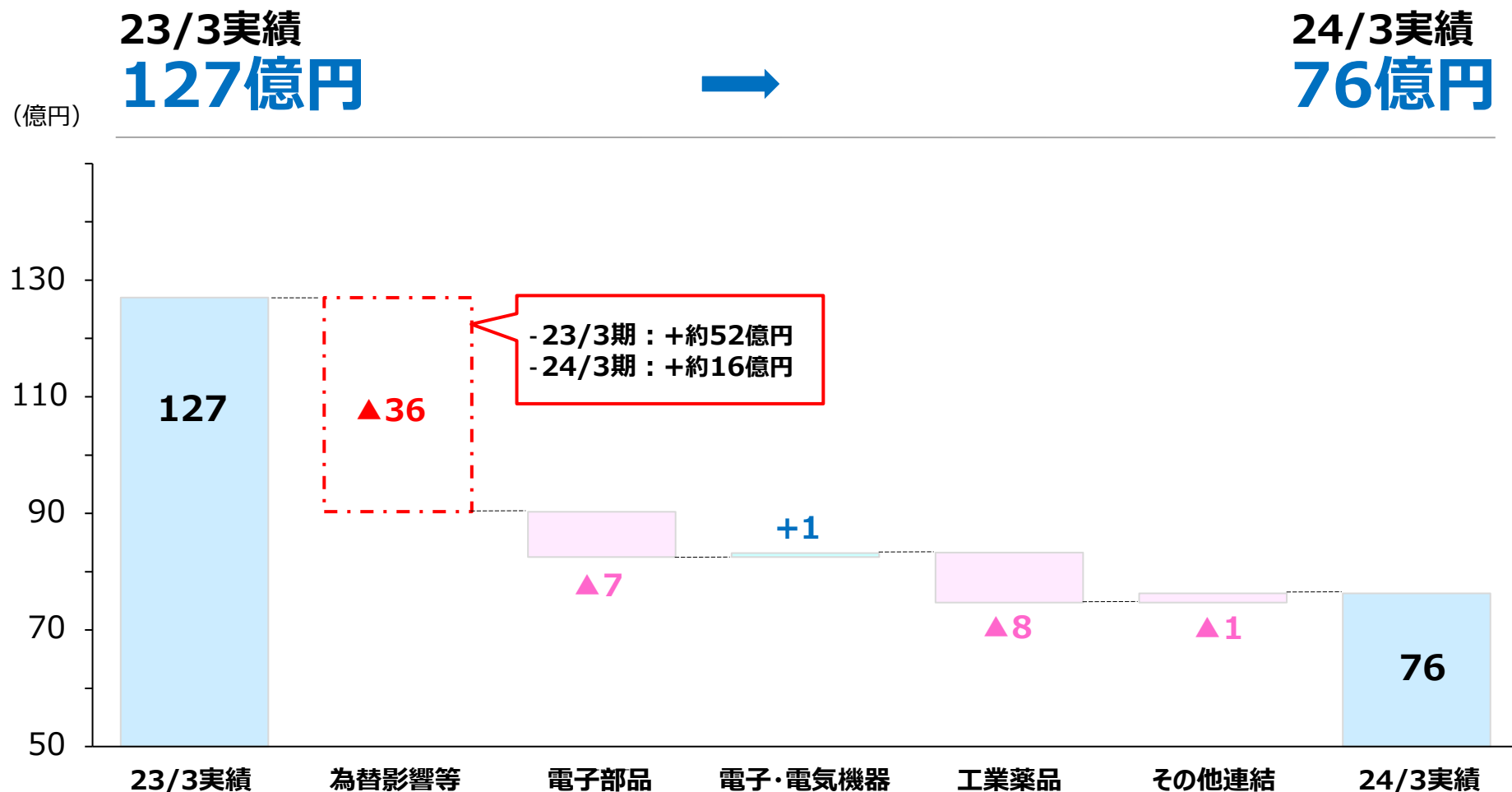
業績概要 ①損益計算書

- 主要取引先の商流変更、中国市場の低迷、顧客の在庫調整等により対前期比で減収・減益
- 政策保有株式の売却により1株利益(EPS)は期初計画比で微減にとどまる

(単位：百万円)	2023年3月期	2024年3月期	増減 (△印減)	
			(差異)	(比率)
売上高	233,624	182,046	△51,578	△22.1%
売上総利益	32,379	26,833	△5,546	△17.1%
営業利益	12,711	7,636	△5,075	△39.9%
経常利益	12,048	6,912	△5,136	△42.6%
当期純利益	8,929	5,175	△3,754	△42.0%
EPS	470.52円	276.20円	△194.32円	—
ROE	14.2%	8.0%	△6.2 %	—

業績概要 ②営業利益増減

- 中国・欧州など各国の景気低迷の影響により電子部品・工業薬品等で減益
- 円安進行による為替影響も23/3期に比べ軽微



セグメント情報

- 電子部品事業・工業薬品事業・・・商流変更や市況の変化の影響を受ける
- 電子・電気機器事業・・・増収・増益で推移

(単位：百万円)		23/3期	24/3期	増減 (△印減)
電子部品	売上高	197,818	144,287	△53,531
	セグメント利益	10,462	5,929	△4,533
電子・ 電気機器	売上高	22,717	26,547	3,830
	セグメント利益	1,665	1,777	112
工業薬品	売上高	12,615	10,788	△1,827
	セグメント利益	849	35	△814
その他	売上高	1,237	1,090	△147
	セグメント利益	205	35	△170
合計	売上高	234,388	182,714	△51,674
	セグメント利益	13,182	7,777	△5,405

貸借対照表

- 資金負担の大きかった商流の変更により、運転資本と有利子負債が圧縮
- 現預金残高の見直しや政策保有株式の縮減により、バランスシートをスリム化

(単位：百万円)	23/3期	24/3期	増減 (△印減)
総資産	145,900	137,759	△8,141
内：現預金	16,751	15,568	△1,183
内：売上債権	58,853	44,378	△14,475
内：棚卸資産	47,973	56,148	8,175
内：投資有価証券	9,288	8,670	△618
総負債	82,036	71,825	△10,211
内：仕入債務	26,569	24,268	△2,301
内：有利子負債	42,085	36,484	△5,601
純資産	63,863	65,933	2,070
自己資本比率	43.8%	47.9%	—

キャッシュ・フロー計算書

- 商流変更の結果、営業CFが大幅に改善
- 政策保有株式の売却収入により、有利子負債も圧縮

(単位：百万円)	23/3期	24/3期	増減 (△印減)
営業キャッシュ・フロー	△3,382	8,712	12,094
投資キャッシュ・フロー	△300	876	1,176
財務キャッシュ・フロー	1,314	△ 11,451	△12,765
換算差額	499	680	181
現金・現金同等物の増減額	△1,868	△ 1,182	686

現金・現金同等物の期末残高	16,751	15,568	△1,183
---------------	--------	---------------	--------

Section 1

- 2024年3月期 決算概要

Section 2

- 2025年3月期 通期業績予想・配当予想

Section 3

- 中期経営計画 Change & Co-Crete 2024

2025年3月期 業績予想

- 地政学リスクの高まり、中国市場低迷の長期化及び顧客の在庫調整の遅れ等により、半導体を始めとするエレクトロニクス関連の市況回復は25/3期下期を見込む

(単位：百万円)	2024年3月期	2025年3月期			増減	
		上期	下期	通期	(差異)	(比率)
売上高	182,046	89,000	101,000	190,000	7,953	4.4%
売上総利益	26,833	12,600	14,400	27,000	166	0.6%
営業利益	7,636	3,000	4,500	7,500	△136	△1.8%
経常利益	6,912	2,700	4,200	6,900	△12	△0.2%
当期純利益	5,175	1,900	3,000	4,900	△275	△5.3%
EPS	276.20円	—	—	260.61円	△15.59円	—
ROE	8.0%	—	—	7.4%	△0.6%	—

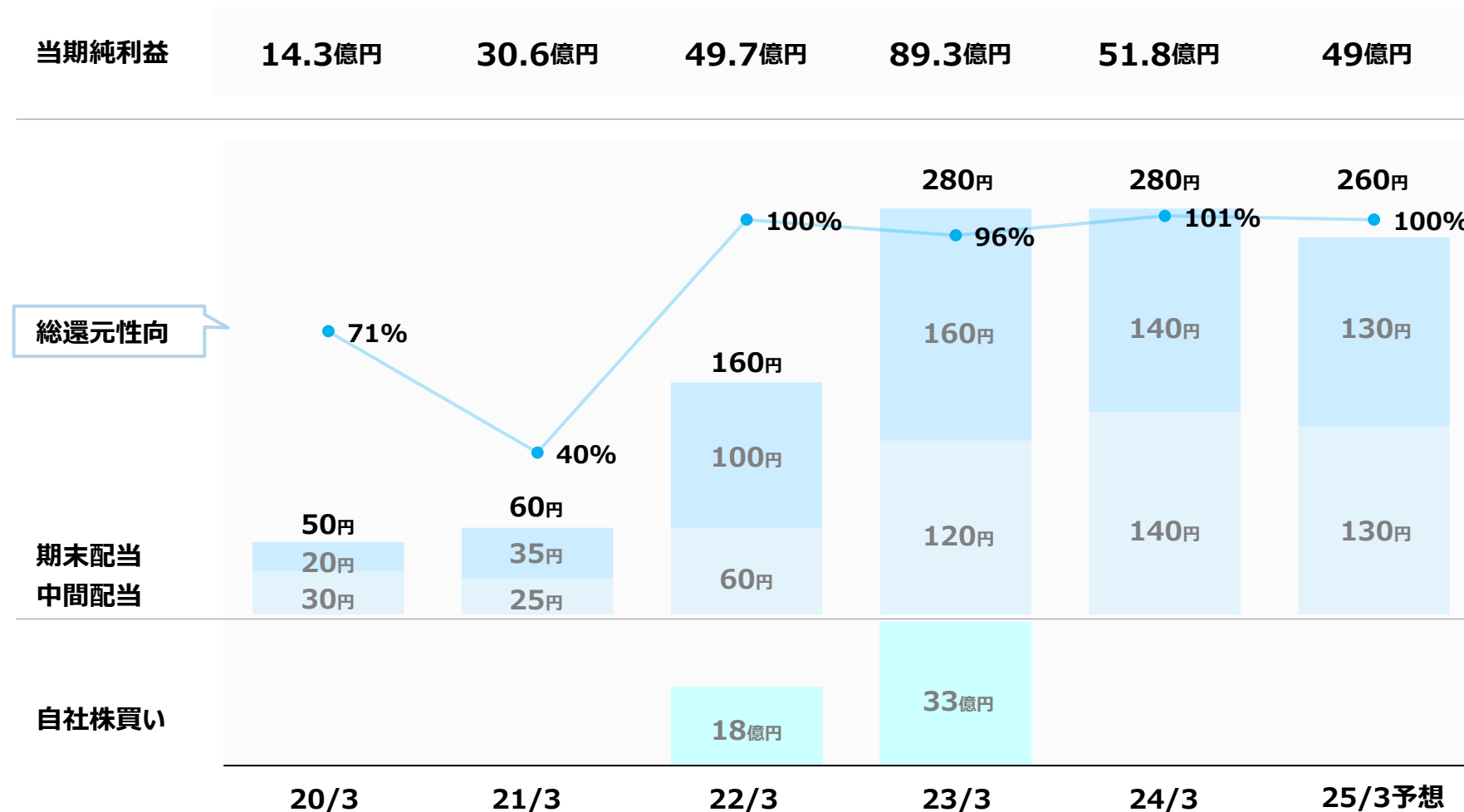
株主還元 ①

配当金について

基準日	1株当たり配当金			配当金 総額 (年間)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第2 四半期末	期末	年間			
2023年3月期	120円	160円	280円	5,292 百万円	59.5%	8.5%
2024年3月期	140円	140円	280円	5,259 百万円	101.4%	8.1%
2025年3月期 (予想)	130円	130円	260円	-	99.8%	-

株主還元 ②

中計期間中（2022年3月期～2025年3月期）総還元性向100% 目標



Section 1

- 2024年3月期 決算概要

Section 2

- 2025年3月期 通期業績予想・配当予想

Section 3

- 中期経営計画 Change & Co-Crete 2024

中期経営計画進捗

定量目標

- 事業構造改革 + エレクトロニクス事業堅調：22年度(実質)連結営業利益「75億円」達成(為替影響控除後)
- 24年度連結営業利益：中国市場低迷の長期化や米中デカップリング問題等の影響を受け、化粧品分野や海外拠点の収益減。前回「90億円以上」へ見直し(23年4月時点)も、上述の背景により計画未達となる見込み

全社戦略・事業戦略

- 21年4月中期経営計画公表 全社戦略、事業戦略 踏襲

事業ポートフォリオ計画

- エレクトロニクス事業：半導体市況の一部影響を受けたが、比較的堅調に推移
- 工業薬品事業：化粧品分野の収益減。成長産業への拡販フォーカス

DX化

- バックエンドDX：約700時間/月 作業時間効率化実現（半導体デバイス中心）
- フロントエンドDX：SFA利活用深化を軸とした営業力・マネジメント力強化のための各施策を進行中

株主還元基本方針

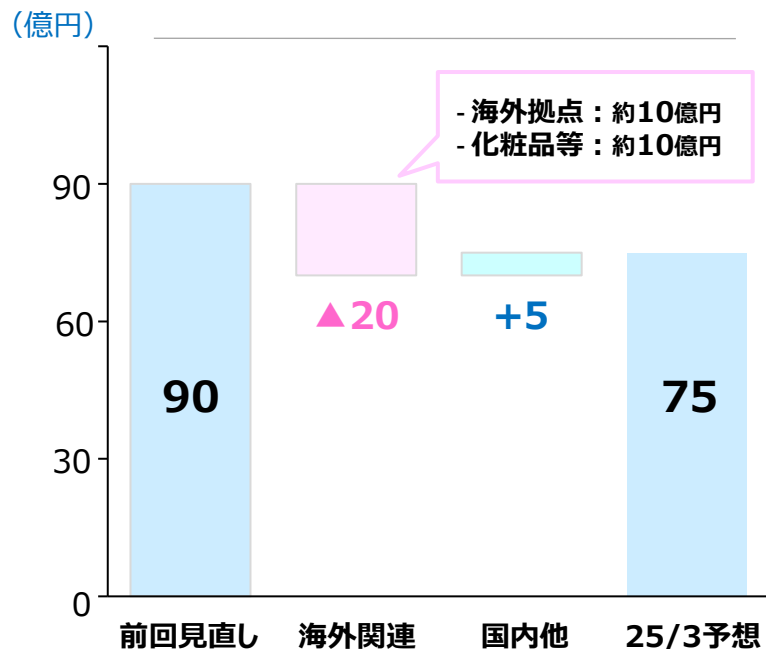
- 配当と自己株式取得による「総還元性向100%」継続

定量目標と各事業の戦略

25/3期 営業利益予想：75億円 (▲15億円)・ROE：7.4% (▲1.6P) (※前回見直し比)

経営指標	当初計画 (21年4月時点)	前回見直し (23年4月時点)	25/3期予想 (24年4月時点)
連結営業利益	50億円以上	90億円以上	75億円
連結営業利益率	3.0%以上	4.5%以上	3.9%
ROE	6.0%以上	9.0%以上	7.4%

● 前回見直しからの増減



● 各事業の取組み方針

各事業	取組み方針
半導体デバイス	人員配置最適化・業務効率化と共に、ソリューションビジネス拡大による高収益・高付加価値化
電子コンポーネント	既存領域のシェア拡大、新商材・新分野開拓加速と併せ、システムインテグレーターへの進化
電子・電気機器事業	自社商品企画・開発強化、新規商品の拡充・販路開拓による差別化された技術・バリューチェーンの構築
工業薬品事業	ソリューションプロバイダへの進化に向け、成長市場集中、自社コア技術・外部技術融合による技術強化
海外事業	地域情勢（中華圏及びASEAN地域）に応じた事業戦略構築、成長地域・市場への注力

配当と自己株式取得による『総還元性向100%』継続

株主への利益還元の充実は経営上の重要な施策と位置づけ、
本計画期間中は引き続き、配当と自己株式取得により、
総還元性向100%とする

- ✓ 配当は引き続き安定配当を基本とする
- ✓ 事業成長が期待でき、高い投資効率が期待できる投資案件等があれば優先する

ご視聴ありがとうございました

本資料にて記載されているデータ及び将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により変化する可能性があります。従いまして、本資料は記載された目標・予想の達成及び将来の業績を保証するものではありません。

<IRに関するお問合せ先>

経営企画部 tel.03-3225-8931